

ツヤハダゴマダラカミキリが発生しています

ツヤハダゴマダラカミキリは、中国を原産とするカミキリムシの一種で、外来種として米国や欧州、オーストラリアなどの各地に侵入し、在来の生態系や人間生活に大きな影響を与えています。このため、侵入地にとりわけ大きな被害を与える生物として、国際自然保護連合により「世界の侵略的外来種ワースト100」に選定されています。

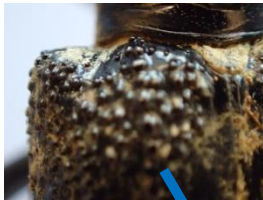
日本では、2002年に横浜市で一時的な発生をみましたが、根絶されています。また、他に散発的な記録が数例知られるものの我が国での定着には至っていません。

今年7月、つくば市のつくばエクスプレス「研究学園」駅周辺で、まとまった個体数の本種が確認されたため、偶発的な出現ではなく、公園等に植栽された樹木からの発生が強く疑われる状況にあります。

本種は、大変多くの樹種(広葉樹)への加害が知られているため、樹種に関わらず街路樹や公園への植栽木などを注意深く観察・監視し、発生木と判断された場合には早急な薬剤注入や伐採などを検討する必要があります。

なお、本種によく似ている在来種「ゴマダラカミキリ」は、普通に目にするカミキリムシですので、相違点を以下の通り示します。

ゴツゴツしている

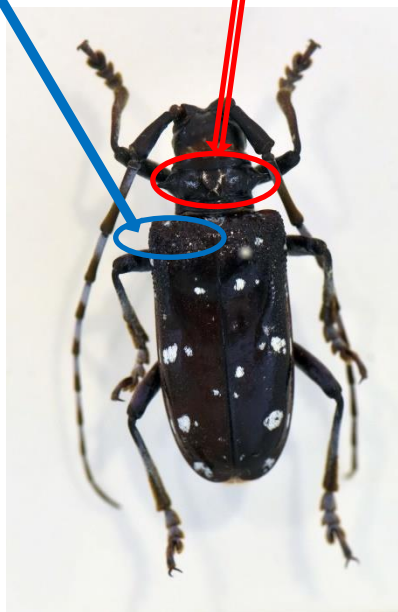
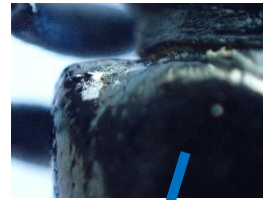


白い紋の有無

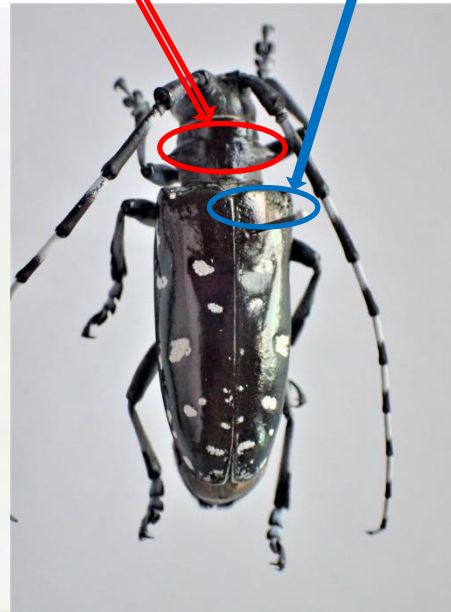
ある

ない

平滑な感じ



(ゴマダラカミキリ)



(ツヤハダゴマダラカミキリ)